

授業科目 精神保健福祉援助実習

【担当教員名】 伊東正裕	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	6	時間数	270（内、現場配属実習180）

<概要>

現場体験を通して精神保健福祉士として必要な専門知識・技術並びに関連知識の理解を深め、精神障害者への相談援助及びリハビリテーションに関する資質・能力・技術を習得する。

<学習目標>

1. 精神障害者の支援に必要な保健・医療・福祉の基礎知識を統合的に理解できる。
2. 精神病院・社会復帰施設・保健所・精神保健福祉センター等、実習先に関する事前学習を行い、それぞれの根拠法令、対象者、機能、職員構成等について把握できる。
3. 実習目標とそれを達成するための具体的課題・方法を明確化することができる。
4. 配属先において精神障害者が置かれている現状を理解し、その生活の実態やニーズについて把握するとともに、職員の役割と援助関係のあり方並びに関係者・機関、社会資源との関わりについて理解することができる。
5. 秘密保持や権利擁護等の職業倫理に基づいた行動を実践し、精神保健福祉援助の価値・倫理を具体例を通して理解できる。
6. 実習体験をもとに、実践場面における態度・行動を客観的に振り返り、自己の課題を明確化することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1 14	オリエンテーション 事前学習 精神保健福祉に関する基本的な理解（１～３） 実習先の理解（１～２） 見学学習（精神病院・社会復帰施設） 個人票作成 実習課題の検討と達成課題の確認 実習計画書の作成（１～２） 実習における心構え・留意点		グループ制にし、各自グループにおいて、担当教員指導の下、学習を進めていきます。個別指導も入ります。 担当教員：伊東、（寺尾）
4週	【現場実習】５月から１０月 配属先 及び 日程は、別途、伝えます。		担当教員による巡回指導を行う。
15 28	事後学習 実習目標の達成度の評価 実習内容の振り返り 解決すべき自己の課題など 精神保健福祉士としての基本的姿勢・技術の学習を深める 実習報告会		各自グループにおいて、担当教員指導の下、学習を進めていきます。個別指導も入ります。 全体

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	実習生のためのPSW実習ハンドブック	牧野田恵美子他編集	へるす出版	2002 3150円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 事前・事後学習の出席状況、授業態度、配属実習の実施状況、実習ノート、その他提出物の提出状況等に基づいて総合的に評価する。	【履修上の留意点】
--	-----------